
書評

五十嵐正男, 福井次矢 編

エキスパート外来診療
一般外来で診る common diseases & symptoms

木戸医院院長

木戸友幸

一般外来を受け持つ医師, 特にソロのプライマリ・ケア医として幅広い外来診療を行っている開業医に最適な参考書が出た。

本書の最大の特徴は, 使い勝手の良さである。各項目の始めにまず要約が述べられ, 次いで疾患の特徴が要領よく示された後, 診断, 治療と続く。これらも程よい分量で診療中でも流し読みできる量である。そして最後に専門医に送るタイミングで締めくくっている。

疾患としては, 通常一般外来で遭遇することの多いコモディティーズはすべて網羅されている。疾患単位の記載に加えて, 症候か

らの診断学, 在宅医療, 漢方の基礎まで盛り込まれている。

しかし, このずっと頭に入ってくる理解し易さはどこからくるのであろうか? 執筆者には聖路加国際病院人脈に加えて, その道の専門家として定評のある方々が集められている。それだけではなく, 彼(彼女)らの多くはその専門に加えプライマリ・ケアも同時に行っていた(いる)医師のように見受けられる。要するにプライマリ・ケア医の気持ちの分かる医師が執筆していることがその理由の最大のものであろう。

本書は500ページの分量があるが, 執筆者は20人余りと少ない

人数でまとめている。なぜなら執筆は疾患別ではなくて, 感染症, 循環器疾患というように系統別で同一執筆者が当たっているからである。このことで考え方に統一感が出せている。これも理解しやすい理由の一つであろう。

外来診療の現場で, 最新の情報を, 簡潔に要領よく, プライマリ・ケアの心が分かる専門医からアドバイスされるのと同等の効果。本書の特徴を一言で説明するのならこのようになるだろう。

最後に私事で恐縮だが, 執筆者のうちの何人かは, 私の30年の臨床医人生のなかで, ある時期仕事を共にしたことのある人たちであり, その素晴らしい臨床能力や人柄までよく知っている。それだけに, 本書を多くの皆さまに強く推薦したい。

[A5 頁564 2008年 定価
6,090円(本体5,800円+税5%) 医学書院刊]